

親しく和やかに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫=大本山本興寺御開士大平日吾上人

寺楽寿

No.39

令和2年1月1日発行



本覺山 妙壽寺 (法華宗 (本門流))
〒157-0061 東京都世田谷区北鳥山 5-15-1
電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427
ホームページ <http://myojuji.or.jp>



季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北鳥山の法華宗 (本門流) 本覺山妙壽寺が発行する寺報です。
檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。

無縁社会と寺縁その35

昨年は、台風15号・19号・21号が日本列島に猛威を振るい、日本各地に風水害の爪痕を残していききました。地球温暖化の問題が叫ばれる中、今までは想定外の風力であったり降水量、それによって齎される被害の規模の大きさは目を覆うばかりでありました。

本宗の大本山の一つである茂原鷲山寺は、現在、新本堂建設中ですが、幸い軽微な被害でありました。JR茂原駅周辺は浸水被害に遭い、また、東金や長生村の本宗寺院では倒木による建物や墓地への被害、あるいは、一週間以上の停電があったとのこと。

行政など本来は有効に機能すべき機関が活動できなかった反面、自主的に地域で立ちあがった所もあり、また、遠方よりのボランティアに助けられた感謝の場面も多く見受けられました。

少子高齢化と自然災害、一見関わりが無いようではありますが、人間社会においては、非常に大きな要因であり、現状のそれぞれのコミュニティの中で助け合いが生死を分けることもあると思います。今私たちが立っているこの時間と場所、そして、これから起こり得るであろう自然災害に対して、少なくとも人災であることを免れるためには、より柔軟で強固な人間同士の繋がりが大切であると思います。

仏教寺院も、嘗てのコミュニティの中心的存在が、近現代の急速な発展の中で改めて人と人との繋がりの中心として機能する役割が求められてきているように思います。そのことは、災害にとどまらず日々の中で寺院が非日常的な存在ではなく、常日頃から檀信徒や地域の人々に開かれた場であることが大切であると思えます。

宗祖日蓮大聖人が、立正安国論において人々の心の在り様こそが大切であって、正しく仏法を信仰することによって、少しでも災害を防ぐことは可能であり、或いは、種々の苦境にあってもより良い方向に転換をすることができ、最良の道であるとお示しなされました。私たちは、この教えに従い、先々代日照上人の残された「親しく正しく和やかに」を胸に、新しい年を迎えたいと思います。

鴉 鶺鴒



線香メーカー「カメヤマ」のコラボ線香シリーズは、各社と共同で開発したミニ寸線香 (安田松慶堂提供)

正隆会 秋のウォーク 鍋島客殿ゆかりの佐倉・旧堀田邸見学

10月10日、秋日和のもと佐倉市にある鍋島客殿ゆかりの旧堀田邸見学(写真上)はじめ、国立歴史民俗博物館、武家屋敷(同中央)、佐倉順天堂記念館(同下)など、歴史の舞台となった場所を訪れました。



寺日記

てらにつき

- 8月21日〜23日 北海道教学講習会 於ホテル札幌サンプラザ
- 8月22日 山越家お盆回向(札幌真駒内)
- 8月27日 第2回鍋島客殿保存会
- 9月7日 永隆寺先代年回法要
- 同寺第二十七世権大僧正 温良院日善(木下善博) 上人 第十三回忌法要
- 9月13日 日本J.C.宗教部会討論会 於新横浜グレースホテル
- 10月2日〜4日 東京教学講習会 於人形町宗務院
- 10月10日 正隆会 秋のウォーク 佐倉堀田邸他一別項参照
- 10月15日 (公財) 全日本仏教婦人連盟大会 於東京プリンスホテル
- 10月22日 日蓮聖人門下連合会京都理事會 於本願寺
- 10月24日 茶道裏千家淡交会身延山献茶式
- 10月26日 川島正次郎先生第五十回忌 御会式
- 11月3日 村山秀紀表装展 於日本橋高島屋
- 11月6日〜20日 竹灯籠能・落語一別項参照
- 11月9日 稲生家・大竹家第五十回忌
- 11月12日 茶道裏千家淡交会池上本門寺供茶式
- 11月13日 全日本仏教会理事會
- 11月14日 於京都東本願寺しんらん交流館



宗務院 DIARY

8/30, 10/18, 12/11 内局会議	8/30, 11/29 宗祖聖誕800年実行委員会
8/27, 10/23-24, 10/30, 12/4 宗門史編纂委員会	9/4-6 宗務院研修会 於札幌・小樽
8/29, 10/30, 12/11 等級制度検討特別委員会	9/17-19 法華宗教学研究総会

募集

正隆会 春のウォーク
鶴沼清明庵と新江ノ島水族館見学会
日時: 令和2年4月18日(土)

▶行程 小田急江ノ島線「鶴沼海岸」駅(新宿より約80分)前集合 10:30⇒10:40 鶴沼海岸⇒片瀬江ノ島駅⇒12:00 昼食[貝作] 江ノ島産海の幸コース⇒13:30 新江ノ島水族館見学⇒15:00 頃 水族館現地解散

参加費(予定): 大人5,000円、中・高生4,000円、小学生3,000円
*詳細は、別紙案内を参照

猿江別院御写経会
1月24日(金) 4月10日(金) 6月5日(金)
8月7日(金) 10月2日(金) 12月4日(金)
参加費▶500円(御写経御手本・半紙・美味しいもの)
*書道具(筆ペン)はご用意しております。

今後の予定

- 1月1日(水・祝) 元旦国禱会
- 2月3日(月) 節分会
- 3月20日(金・祝) 春の彼岸中日法要

予告

桑港・日蓮教会 11月10日 秋空の中、30数名の参加を得てお会式法要を奉修致しました。7歳と9歳の男の子の七五三祈願、及び8月に逝去されたWilliam Matsuda氏の四十九日忌・百ヶ日忌の法要を御勤めました。

鶴沼・清明庵 11月23日 晴れの特異日であるはずが小雨の降る中、お会式が奉修され、十数名参加のもと、宗務院・渡部憲亮上人ご法話の後、唱題を行いました。

11月15日 平島盛龍先生お祝い会・還暦職員お祝い会 於鍋島客殿

11月18日 勝田光代(伊東深水画伯子息)夫人来山

11月19日 光長寺貫首原井日鳳院下第三八代管長推戴式 於大本山光長寺・沼津リバーサイドホテル

11月23日 元総代長島伸行氏 美保子夫人誕生会 於銀座・St.サワイオリオンズ

11月25日 ローマ教皇ミサ 於東京ドーム(写真左上)

11月26日 淡交会裏千家全国支部長大会 於京都リーガルロイヤルホテル

11月28日 NPO法人ましろらぼ 鍋島客殿見学

12月2日 歴代報恩法要・総代会・お祝い会 於當山・維新號赤坂店

12月6日 東京教区寺庭婦人会

12月7日 鍋島客殿見学

12月9日 河口湖常在寺先代年回法要

12月10日 大本山光長寺第六十九世・同寺第三十九世大僧正日行聖人第二十三回忌法要

12月9日 東京フディストクラブチャリティパーティ 於帝国ホテル

12月10日 茶の湯インターナショナル茶会 於帝国ホテル

12月13日 京都福知山光延寺訪問

12月14日 正隆会二千遍唱題会

12月17日 音羽護国寺中丸堂見学会

12月23日 お焚き上げ法要

雲

当住上人久美夫人
「飾りたい・書展」へ出品
父と母は今年、雲の上へ

鶴沼・清明庵 11月23日 晴れの特異日であるはずが小雨の降る中、お会式が奉修され、十数名参加のもと、宗務院・渡部憲亮上人ご法話の後、唱題を行いました。

桑港・日蓮教会 11月10日 秋空の中、30数名の参加を得てお会式法要を奉修致しました。7歳と9歳の男の子の七五三祈願、及び8月に逝去されたWilliam Matsuda氏の四十九日忌・百ヶ日忌の法要を御勤めました。

一之輔落語×竹灯籠能「羽衣」

秋も一段と深まった11月9日、恒例の落語会・竹灯籠能が催されました。三遊亭一之輔師匠による「呑める」、続いて「天災」をお披露目しました。その後、一之輔師匠・浅見能楽師・当住上人による鼎談(本紙掲載予定)が行われ、夕闇に包まれる頃には竹灯籠に明りを灯し、浅見師の美しい天女の舞いにより、本堂は一層幽玄な世界に包まれました。

なお、今年は11月7日(土)に開催を予定しております。

正隆会 [SHORYU-kai]

月例講 ご案内

午後2時開催

1月11日(土)	初題目・写経会
2月3日(月)	節分会
3月14日(土)	勉強会「日蓮紀行」拝読7
4月18日(土)	春のウォーク「湘南」
5月7日(木)	猿江大祭
5月16日(土)	勉強会「日蓮紀行」拝読8
6月13日(土)	勉強会「日蓮紀行」拝読9
7月11日(土)	勉強会「日蓮紀行」拝読10

当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例では、毎回1時半より正隆会前法要を奉修しております。

泊 三夫氏

(当山総代)一般社団法人ソシオ・エンジン・プロジェクト 会長兼代表理事

令和元年9月24日

聞き手 三吉廣明 上人
於・乃木坂倶楽部(港区赤坂)

〈上〉

泊家と妙壽寺

住職 今日はお忙しいなか、泊総代にお越しいただきました。また、先日のお彼岸には奥様とお参りいただきまして、ありがとうございます。

泊氏 (以下、敬称略) いつもお世話になっております。

住職 ありがとうございます。泊総代にはかねてより、いろいろとお伺いをしていと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

私が初めて泊家にお伺いし、存じ上げたのは、お父様が亡くなられた昭和49年のお正月でした。

泊 そうです。元旦に亡くなったんです。木上人とお通夜にお伺いしたというのを鮮明に覚えてます。朝、年賀状をとりに行かれて、その後、おぐあいが悪くなられたということですね。泊家は代をさかのぼると、ご出身はどちらですか。

泊 長崎五島列島の宇久島です。

住職 お父様は、いきなり上京されたのですか。

泊 そうですね。父は、長崎県立中学校から途中で逗子開成中学校、そして今の

東京工業大学の前身、蔵前工專に入りました。まさに蔵前にありました。それから国鉄に入って、鉄道の重電の技師に就いたという次第です。

住職 それは列車、電車関係の技師ですか。

泊 そうですね、変電所の設計技師です。軍属として中国に渡り…。

住職 それは満州鉄道のことですか。

泊 上海で、華中鉄道に配属されて、戦後に引き揚げてきました。

住職 とところで、妙壽寺との接点はどこにあったのですか。

泊 本岡の墓がございますね。本岡はおやじの姉に当たるんですよ。

住職 嫁いだ先の本岡家が妙壽寺のお檀家だったと。

泊 そうです。父にとつて義理の兄にありましたが、この縁で多分国鉄に入ったと思います。詳しいことはわかりませんが、やはり風力発電などの研究者です。結構な方だったようですね。その本岡家の紹介で妙壽寺に泊家のお墓を建てたようですね。

住職 そうですか。本岡さんは、先々代の日照上人とご縁が深かったことは聞いております。

泊 ですから、妙壽寺さんとのご縁はおやじの代からですね。

住職 それから、お母様のお葬儀が妙壽寺のご本堂で盛大に営まれたとき、当山始まって以来、ご生花の数が多かったという、今でも語り草になっています。ご自身も博報堂でいらっしやるし、お兄様(泊懋氏)が東映の副社長、その後、東映アニメーションの会長を務められました。(平成26年3月発行「テラス」インタビュー掲載)

そういうことで、ご母様様のお葬儀は参列者の多さで大変でした。

泊 私もちょうど博報堂の営業局長に就いて1年か2年目ぐらいだったので、たくさんの方々が参列され、兄と2人分だったので大変でした。

住職 生花の数がすごかった。

泊 2人とも現役だとあんなものか、みたいな感じで。

妙壽寺役員ご依頼

住職 その後、お寺にいろいろお力添えいただきたいとお願いになりました。それが今日のお話の、この場が乃木坂現在の泊総代のオフィスから赤坂通りを日枝神社に進んだところに元のTBS会館があり、そこがBinzタワーとなつて博報堂さんがあり、妙壽寺の役員ご依頼ということでお伺いしました。そのときも非常に印象的だったのは、お仕事の話もそうですし、眺めがよかったですね。首相官邸とか皇居がすぐ見渡せる。何階でしたか。

泊 22階ですね。

住職 相当よく見える。そのときに、営業担当役員をされていて、常務でいらっしやいましたね。常務さんは、何人かおられて、ご担当は何だったんですか。

泊 担当は営業ですから、1つのグループ、私のテリトリーのグループは600人ぐらい。現場じゃないので、口だけ番長と同じようなレベルで。(笑)

住職 (笑) これを快くお受けいただきました。実は先日、都心にある博報堂の非常にクラシックな建物を見かけて…。

泊 神田錦町です。

住職 お彼岸にご自宅へお伺いしたとき、ご主人と奥様にその話をしたら、すごく懐かしいということ、私は知らなかったのですが、社内結婚でいらしたとか…。

泊 そうなんです。うちのおやじの葬儀がきっかけなんです。同期ですから、何人か来ていただいて、その後に私がお礼参りといいますが、一人一人に挨拶をして話をし、その時に…。

住職 それから…。(笑)

泊 おつき合いを始めて。

住職 そうですか。

広告代理店の仕事とは

住職 もともと博報堂はどういう発祥ですか。

泊 博報堂は電通と一緒に、内外通信社博報堂といいました。要するに、新聞社に情報運んだりするような、それに生業を持つている会社でした。

住職 非常に基礎的な質問ですが、いわゆる私どもが耳にする共同通信とか時事通信とはまた別のものですか。

泊 同じです。電通も同じですが、博報堂はそんな仕事をしているついでに、主に書籍の広告を取り次ぐようになったんです。だから、書籍広告の大半は博報堂が扱っていたんじゃないですかね、昔は。

住職 それが大きいく分かれていく。電通はメディアのほうへ行くんですか。

泊 戦後ですね。戦後の取り組み方の違いとか、昭和30年ぐらいになってから差が出たんですね。電通は、要するにテレビに出資をし、テレビの広告を扱うようになったんですね。博報堂は書籍の広告の会社ですから、活字メディアを信奉して電気紙芝居と言って軽蔑していたんです。創業は瀬木さんというオーナーカンパニーでしたから。

住職 瀬木家というのは。

泊 瀬木家は富山の出身です。電通さんは、あれよあれよという間に成長して5倍ぐらいになったんです。博報堂は電通に追いつけ追い越せという感じで、新しい手法を取り入れて成長して、今、まあちょうど半分ぐらいになっているんですかね。今は、日本国内市場の扱いはほとんど電通を追い抜いているような状態

住職 海外戦略でちよつとまだ水がはいっていますけど。

泊 洞爺湖サミットは安倍内閣でしたか。福田さんのときでした。

住職 非常に印象的だったのは、大きいところでは電通さんだけでも、いろいろ博報堂さんもやられていて、プレスは運営仕切りを全部されていた。実は、私は宗派の事務局の役員を務めています。イベントが多いです。イベントは、日本の場合には常に天候の心配があつて、泊総代から「いきなり天候が悪くなって、ヘリで要人を運ぶこともだめになり、すぐ現場が混乱した」という話を聞きました。すぐくりアルだなど思いました。また、夫人同伴なので、奥様だけのサミットがありましたね。

泊 夫人プログラムです。

住職 やはりご苦労が多かったですか。

泊 いや、もう本当に大変です。裏方は、住職 そうですね。私も洞爺湖へ行つたことがありますが、プレスセンターが車で1時間ぐらい離れているところにあるというお話でしたね。総代は、そのプレスセンターに詰めていたんですか。

泊 そうです。私はペンションに1カ月ぐらい前から住んでいて、行ったり来たりしていました。運転手もいるので、そんなに大変ではないですが、ただ、総責任者だったので、プレスセンター運営及びプレスコンファレンス、あとは催事関係などの対応指示や確認を担っていました。天気が悪く、霧で何も見えなくてね。

住職 私どもには本当にわからない世界ですけれども、結局、そういうのも入札とおっしゃっていましたね。

泊 そうです。

住職 入札というものの売り買ひみたいなイメージですけど、そういうソフトのパッケージとしてのことも全部入札とい

うのは、これもやっぱりアメリカ方式なんでしょうか。

泊 何というんですかね。やっぱりいろんなことでもたたかかれることが多かったのだ…。

住職 相見積りもりのような意味合いですか。

泊 相見積りもりではないですね。一旦、企画競争をやつた後に見積りもりをやるんです。そこでゼロ円を出した企業が勝ちますから。

住職 それはそうですね。

泊 (笑) これ、なかなか読めないですよ。そうならししようがないんですけど、今、全てが協賛で…。

住職 お金集めです。

泊 大体私どものようなレベルでもそういうことがわかってしまうのは、例えばオリンピックがなぜこんな真夏のときにやるのかなど。実はCNNが向こう10年間の放映権を何兆円で買っているという時期に重なるから、夏の開催ということとで押し切っているという話を伺うと、スポンサーがあるからできる。

でも、スポンサーとの力関係の調整というのは相当神経をお使いではないですか。

泊 そうですね。ほとんど板挟みの中で調整するという感じです。そういう意味では、お金の力が大きくなったという時代でもありませんね、昔と違って。意味があれがいいんじゃないかという時代ではもうないですね。金融として成り立っているというか、リターンがどのぐらい取れるかとかいうことを計算しないと成り立たない。

文化とかスポーツという側面で物事を評価していないですね。いいかどうかというところ、ちよつと悲しいところがありますね。(次号へつづく)



泊 三夫総代と当住上人(赤坂・乃木坂倶楽部前にて)